

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	【身体拘束をしないケアの実施について】 身体拘束廃止に関する指針の整備について、本部尚紫会としての指針はあるが、グループホーム群れ咲きとしての指針の整備 委員会や、運営推進会議での定期的な検討 玄関の施錠についての検討、スタッフの理解	委員会と研修を一体化して実施していたが、委員会は運営推進会議において開催する。 グループホームの指針の整備を行う 身体拘束についてのスタッフの理解を深める	4月の運営推進会議において、身体拘束、虐待防止委員会の設置を検討して頂いた。 指針については本部を参考に整備を行う。 研修を実施しているが、その中で、何気なくしていることがどうなのか検討していく。 玄関の施錠を危ないからと実施しているが、外へ出る時間を作っていく。	6ヶ月
2	45	【入浴を楽しめることが出来る支援】 入浴は週2回の入浴であり、週3回へ移行を検討している。午前浴であるが、午前に入ること で、外出、 日常業務への関わり方が少なくなっている。 午後入浴を実施し、入浴の後はゆっくりくつろぎ、安眠をとりたい。	入浴を週2回から週3回への入浴を実施する。 午前浴から午後浴へ移行し、おやつ後から、夕食までに入浴できるようにする。	週3の入浴になると、一日の入浴者数が増えるため、スタッフの配置を検討する。夕食づくりにスタッフ、時間がとられてしまっており、夕食作りの効率化を図っていく。スタッフと目的を共有し、時間、動き、準備、利用者の思いを検討し進めていく。	12ヶ月
3	26	【チームで作る介護計画とモニタリング】 介護計画は、半年に一回作成し、3カ月に一回モニタリングを行っているが、利用者の状況にも変化があり、スタッフが課題の把握を確認していくためにも、月一回へ変更する予定	月一回モニタリングを行う。 スタッフへの利用者の課題、モニタリングへの理解を深める。	現在月一回のスタッフ会議で各利用者の状況を、確認しているが、スタッフ会議でモニタリングを実施し、確認する。 達成度がスタッフにもわかりやすくなるよう、計画作成者を中心に考えていく。 具体的な目標を挙げ、達成への喜びを共有する。	6ヶ月
4	49	【日常的な外出支援】 梅見、花見、また誕生日に好きな所、外食、喫茶店、ペランダとある程度行えているが、ちょっと外へ出てという機会を増やしたい。	今日、お天気がいいから、スタッフがいるからと気軽に外出できるようにしていく。	少しずつ進んでいっている。 外出を特別なものと考えず、日常の一環として、外をはく、掃除するを取り入れていく。 日常的にちょっと外出する機会を検討していく。	12ヶ月
5	1	【理念の共有と実践】 尚紫会としての理念はあるが、グループホームとしての理念の構築には至っていない。何回かのスタッフ会議において、思いを聞き、言葉の抽出は行っているが、以後、すすんでいない。	グループホーム群れ咲きとしての理念を構築する。 スタッフの言葉で作っていく。 日々、唱和できるようにする。	スタッフからの思い、言葉に添いスタッフ会議において検討していく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。